

必見

水稻生産者の皆様へ 高温に負けない稲づくり

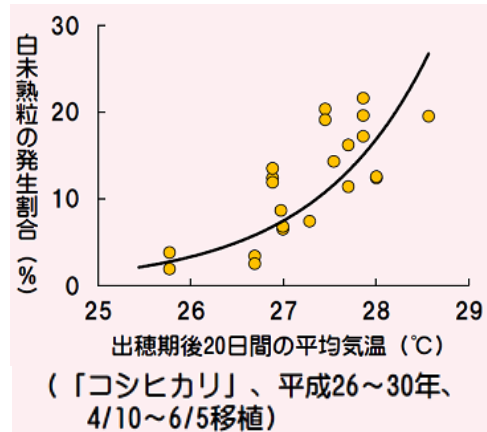
令和6年
全農千葉県本部・
千葉県

《はじめに》

■ 本年も非常に高い気温で推移していることから稲の高温障害が心配されます。特に出穂期後20日間の平均気温が 26℃を超えると高温登熟障害となり、白未熟粒の発生が多くなり等級落ちにもなるため対策を徹底しましょう。

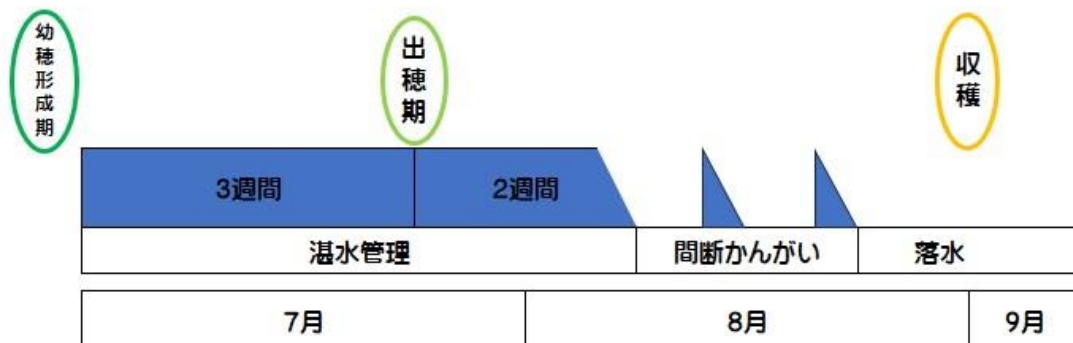


基白粒 背白粒
(農林水産省ホームページから)



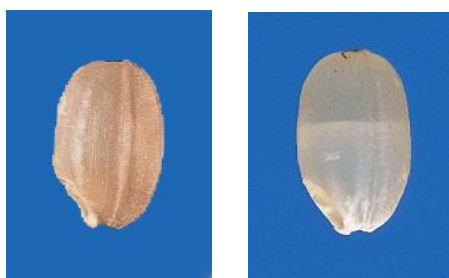
《対策2》根の活力を維持する水管理

■ 出穂期の3週間前から2週間後までの期間は、湛水状態を保ち、その後は、登熟期間後半の根の活力を維持するため、間断かんがいとします。収穫前の落水時期が早いと、白未熟粒が増加しますので、落水は出穂期後 25 日以降とします。田面に大きな亀裂が入ると根が断絶され、登熟に必要な水分が不足しますので注意しましょう。



《対策3》高温時は刈り遅れによる等級低下に特に注意

■昨年(令和5年)は、茶米(被害粒)の混入が目立つ事例が見られました。茶米の発生は刈り遅れが一要因です。



茶米(被害粒) 胴割粒(被害粒)

(農林水産省ホームページから)

■刈り遅れは精米時の歩留りに特に影響する胴割粒の多発の原因となります。

■帯緑色粳割合※が15%の 때가収穫適期です。出穂期後に 高温になると収穫適期が早まりますので、刈り遅れにならないように注意しましょう。(※わずかでも緑色が残っている粳の割合(不稔粳を除く)、穂の下部の枝梗に残りやすい。)



内が帯緑色粳
(平均的な株の長い穂を見る)

品種	出穂期から収穫適期までの日数(日)	出穂期後が高温の場合
ふさおとめ	33	左の日数より 3~5日程度 短縮する
ふさこがね	37	
コシヒカリ	38	
粒すけ	38	
ヒメノモチ	37	
ふさのもち	35	

◆「でるた」について◆

インターネットで「水稻生育予測システム」で検索！
または右のQRコードを読み取って活用してください。



出穂期は、水稻生育予測システム「でるた」で予測し、実際にほ場で確認しましょう。

注) 水稻生育予測システム「でるた」で表示される収穫時期(成熟期)は、出穂期後の高温による成熟期の前進を加味していません。出穂期後の気温が平年より高い場合は、「でるた」による予測値より早めに帯緑色粳の確認を始めましょう。

J Aかとり 指導経済部営農生活課 (TEL0478-70-7712)

全農千葉県本部・千葉県 令和6年発行